

第3学年道徳学習指導略案

令和3年1月16日(土) 1, 2校時

授業者 1組 北村 治郎

2組 小野 泰裕

3組 中澤 優美

4組 柚木 鈴香

- 1 主題名 「命あるものを大切に」D 生命の尊重
- 2 資料名 「ヒキガエルとロバ」(『わたしたちの道徳』)
- 3 ねらい 生命の尊さを感じ取り、命あるものを大切にしようとする心情を育てる。
- 4 授業の流れ

	学習活動 【◎中心発問 ○主な発問 ・児童の反応】	□留意点 ■評価【評価方法】
導入	(1) 生きているとは、どのようなことか考える。 ○生きているとは、どのようなことでしょうか。 ・ご飯を食べる ・背が伸びる	□終末につなげられるように、自分で「生きている」ことについて考えさせる。
展開	(2) 「ヒキガエルとロバ」を読み、生命の尊さについて考える。 (3) アドルフたちの気持ちを考える。 ○アドルフたちはどんなことを思っていたでしょうか。 ・気持ち悪い あっち行け ・どんな風につぶれるかな (4) ロバの行動の理由を考える。 ◎なぜロバはヒキガエルをよけたのでしょうか。 ・死んでしまうのはかわいそうだから ・どんなに小さな命でも大切な命だから (5) アドルフたちの気持ちの変化を考える。 ○アドルフたちの気持ちはどう変わりましたか。 ・どんな命も大切にしないといけない。	□児童のなじみのない言葉を補い、情景を想像できるようにする。 □アドルフたちが軽い気持ちでヒキガエルをいじめていることをおさえる。 □年老いたロバが農夫から厳しく働かされている状況を押さえる。 ■生命の尊さを感じ取っている。 【発言・ワークシート】
終末	(6) 「生きているって・・・」の詩を読み、自分で同じように詩を書く。 ○自分なりの詩を作ってみましょう。 ・生きているって、ご飯を食べること ・生きているって、背がのびること	□導入で考えたこととつなげて考えられるようにする。